ヒアリについて

文責　内科　大塚伸昭

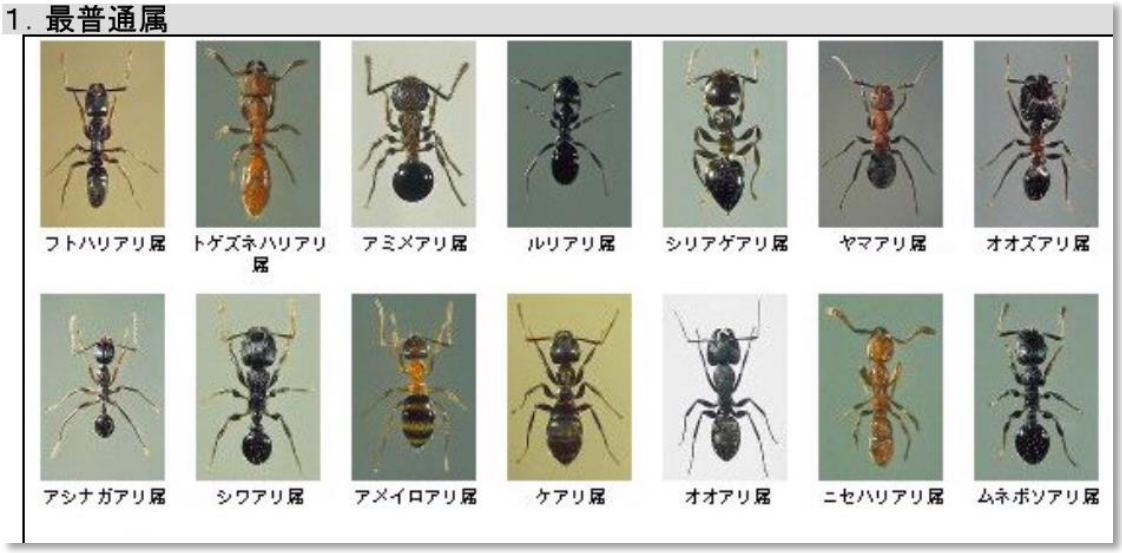
宮崎ではまだヒアリの報告はありませんが、日向港にも中国からの貨物船が来るという事ですので注意は必要かと思います。ヒアリと他の通常のアリの写真を中心に以下解説します。

これが６ｍｍの実際の大きさ。小さい！

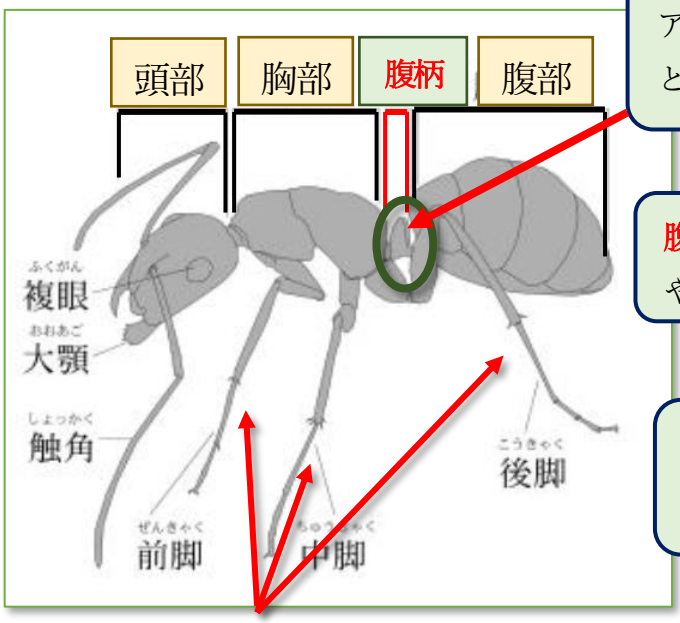
上から見た写真

正面から見た写真

九州にいる通常のアリを以下に示しますが、多くの種類がありヒアリとの鑑別は難しそう！



アリの解剖



アリには胸部と腹部の間に**腹柄（ふくへい）**と呼ばれる部分がある

腹柄（ふくへい）がある事でアリは体を曲げやすくする事ができる。

この**腹柄**が一つの場合が多いが**ヒアリ**やアカカミアリ（外来種）は２つある（2 コブ）。

アリはハチ目（モク）、スズメバチ科に属する昆虫。胸部から６本の足が出る。

日頃じっくりアリを見た事は無いと思いますが、一度眺めてみてください！

スズメバチ、ヒアリなどの刺傷によるショックについて

アナフィラキシーショックと呼びますがこれは anaphylaxis の an が**逆行する、抵抗する**という意味、phylaxis が防御するという意味なので「**防御に抵抗するショック**」という事になります。

攻撃

即時型アレルギーにより色々な化学物質が体内から分泌

重篤になると

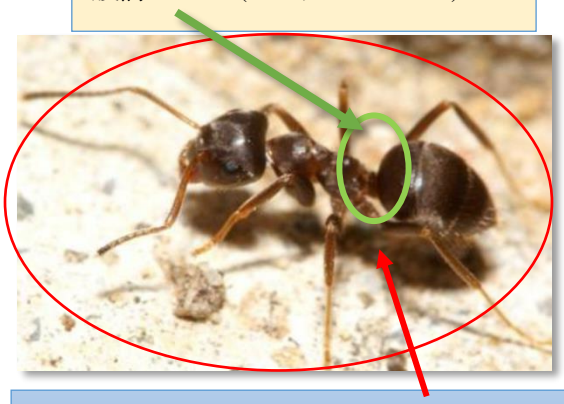
血管透過性亢進、血管拡張、心筋抑制による**血圧低下**

平滑筋収縮や粘液分泌亢進、咽頭粘膜腫脹による**気道閉塞**

これらに対して**交感神経刺激剤**が有効！病院なら**アドレナリン（ボスミン）**投与する。**筋注が原則**で**10 分程度で最高濃度**となる。**成人で約 0.5mg 体重 1 キロ当たり 0.01m g）初回投与**。血圧低下にたいしては**下肢挙上**などを行う。アレルギー患者の中には**エピペン**を保有する人もいる。

九州にいる通常のアリ（普通属）

腹柄は一つ（ヒアリは２つコブ）



これは公園などに普通にいる**トビイロケアリ**
（体長 4mm 程度）

頭が大きくて全体が黒光りしている

これもよく見るオオアリ（体長 7～12mm）

樹木などでよく見かけるクロクサアリ

これもよく見かけるクロヤマアリ
（体長 4～6mm）